

2023年度 第1四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

- ・受注量：全ての業種でDI値がマイナスとなり、全体的に若干の減少傾向が見られる一方、「不変」と回答した企業の割合が増加した
- ・受注見通し：多くの業種でDI値がマイナスとなったものの、前回調査時から若干の改善傾向が見られる
- ・受注単価：ほぼ全ての業種でDI値がプラスとなったが、前回調査時から「上昇」と回答した企業の割合が減少した。一方で「不変」と回答した企業の割合が増加した
- ・資金繰り：前回調査時から「好転」と回答した企業の割合が増加した
- ・採算状況：前回に続き赤字企業の割合が増加したが、それ以上に黒字企業の割合が増加した

<項目別の特徴>

- (1)受注量：「やや減少・減少」の割合が前回に続き4割を上回り、全体的に若干の減少傾向が見られる。特に「樹脂製品」「鉄鋼・非鉄」の2業種はDI値の減少幅が大きく、これら2業種及び「精密機器」のDI値は、今回▲40.0を下回る結果となった。一方、全体としては「不変」の割合が増加しており、この減少傾向に底打ち感も見られる
- (2)受注見通し：全体のDI値はマイナスとなったものの、「金属製品」「輸送用機器」の2業種のDI値が大きく上昇してプラスに転じ、前回調査時から若干の改善傾向が見られる
- (3)受注単価：ほぼ全ての業種でDI値がプラスとなったが、前回調査時から「上昇」の割合が減少した。一方で「不変」とする割合が増加し8割を超えた
- (4)資金繰り：「好転」の割合が増加するなど、改善の兆しが見られる
- (5)採算状況：前回調査時から黒字企業の割合が増加するなど、改善の兆しが見られる
- (6)受注余力：「受注余力あり」とする企業が68.8%と、前期と比較して4.5%の増加となった（「受注余力あり」とする企業の割合が増加した＝マイナス傾向）

<分析>

調査対象企業のうち21社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

今回の調査では、「受注量」のDI値が前回調査時から更に低下するなど、府内ものづくり企業の景気動向に悪化傾向が見られた。一方、全体としては「不変」の割合が増加しており、この悪化傾向に底打ち感も見られる。「受注見通し」については、DI値が全体的にはマイナスの値で厳しい見通しであるが、前回調査時と比較すると上昇しており、若干の改善傾向が見られた。

長らく生産調整が続いていた自動車業界については、昨今「生産・新車販売共に回復基調」との見方もあり、今回の調査における輸送用機器関係の「受注見通し」のDI値も前回調査時から大きく上昇した。しかしながら、府内の関連企業からは「コロナ前の受注量には戻らないだろう」「秋頃に回復すると（取引先から）聞いている」「4月に底を打ち、今はコロナ前の水準まで回復」など、様々な見通しが聞かれた。

また、価格転嫁については、主に原材料価格の高騰に対する価格転嫁は一定程度進んだものと見られるが、「できたのは原材料価格の高騰分の一部のみで、電気料金や人件費といった間接費の高騰分は困難」といった意見も聞かれた。

今後も暫く、エネルギー価格や人件費等の更なる高騰から、先行き不透明な状況が続くことが懸念される。

(注) 本報告書で使用するDI値とはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2023年4月～6月
(2023年6月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 257社 (回答率 85.7%)

公益財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2023年6月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

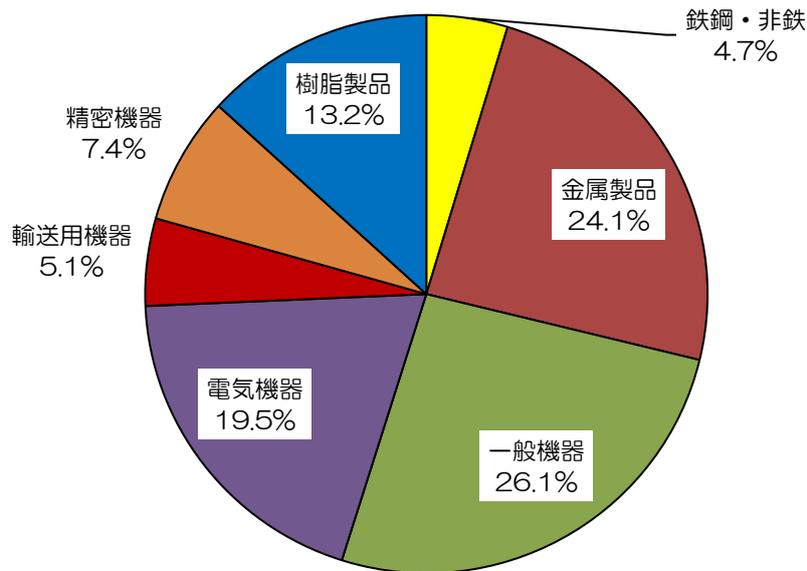
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	257社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	12社	(4.7%)	
金属製品関係	62社	(24.1%)	
一般機器関係	67社	(26.1%)	
電気機器関係	50社	(19.5%)	
輸送用機器関係	13社	(5.1%)	
精密機器関係	19社	(7.4%)	
樹脂製品関係	34社	(13.2%)	
④ 回答率	85.7%	[前回：85.0%]	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 1.9%		1 1.6%		1 2.0%			3 8.8%
~300万円	22 8.6%		8 12.9%	2 3.0%	4 8.0%	2 15.4%	2 10.5%	4 11.8%
301~999万円	10 3.9%		3 4.8%	4 6.0%		1 7.7%		2 5.9%
1000~2000万円	143 55.6%	7 58.3%	35 56.5%	42 62.7%	28 56.0%	3 23.1%	12 63.2%	16 47.1%
2001~5000万円	59 23.0%	5 41.7%	14 22.6%	15 22.4%	12 24.0%	3 23.1%	3 15.8%	7 20.6%
5000万円超	18 7.0%		1 1.6%	4 6.0%	5 10.0%	4 30.8%	2 10.5%	2 5.9%
合 計	257 100%	12 100%	62 100%	67 100%	50 100%	13 100%	19 100%	34 100%

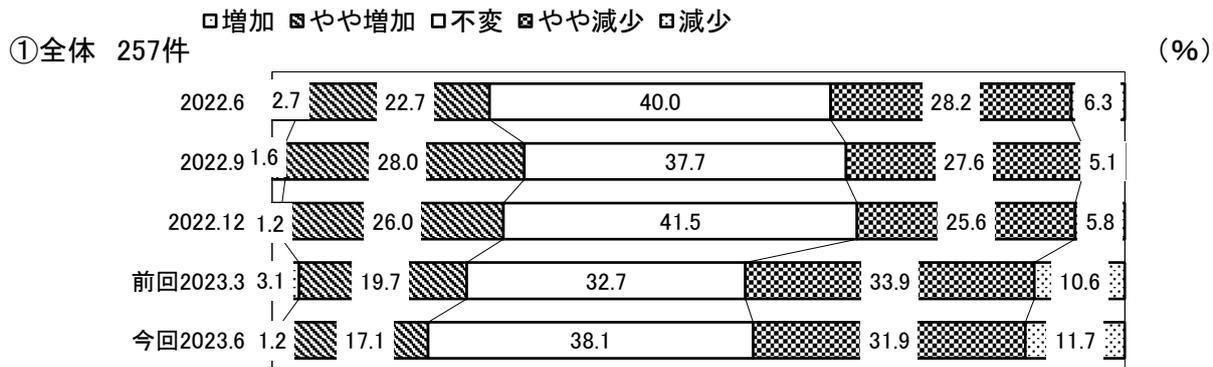
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

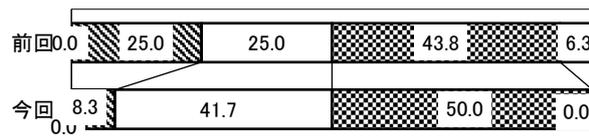
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	18 7.0%	2 16.7%	3 4.8%	5 7.5%	5 10.0%			3 8.8%
6~10人	32 12.5%	1 8.3%	5 8.1%	10 14.9%	3 6.0%	3 23.1%	5 26.3%	5 14.7%
11~20人	64 24.9%	1 8.3%	15 24.2%	19 28.4%	14 28.0%	1 7.7%	5 26.3%	9 26.5%
21~30人	36 14.0%	2 16.7%	14 22.6%	12 17.9%	3 6.0%	1 7.7%	1 5.3%	3 8.8%
31~50人	45 17.5%	4 1.0%	13 21.0%	8 11.9%	10 20.0%	2 15.4%	4 21.1%	4 11.8%
51人以上	62 24.1%	2 16.7%	12 19.4%	13 19.4%	15 30.0%	6 46.2%	4 21.1%	10 29.4%
合 計	257 100%	12 100%	62 100%	67 100%	50 100%	13 100%	19 100%	34 100%

3. 調査結果

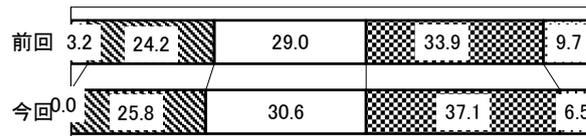
(1) 受注量について



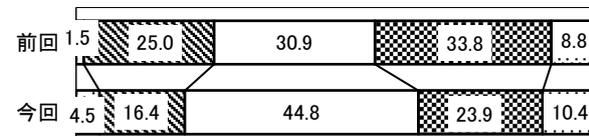
②鉄鋼・非鉄 12件



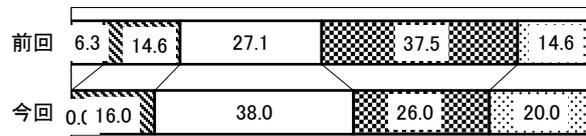
③金属製品 62件



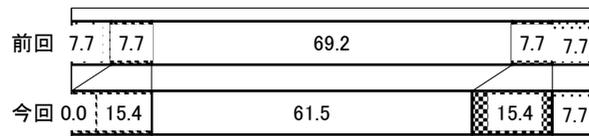
④一般機器 67件



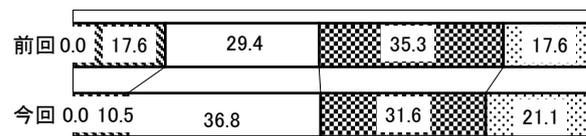
⑤電気機器 50件



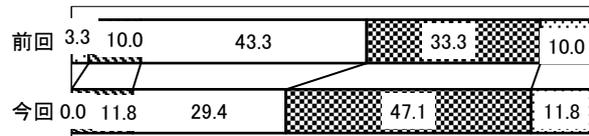
⑥輸送用機器 13件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 34件



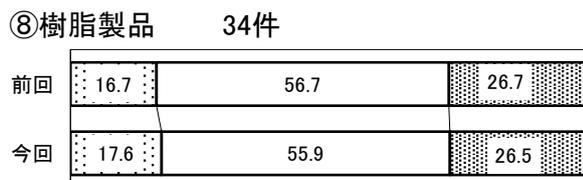
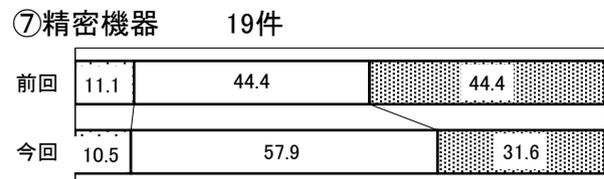
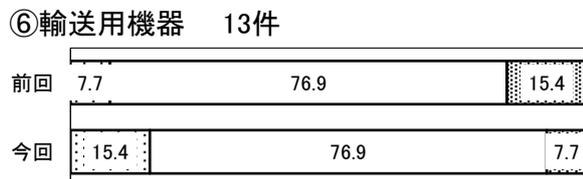
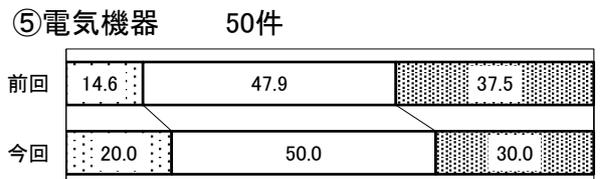
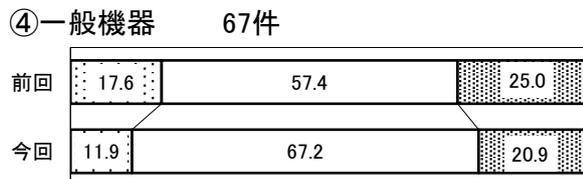
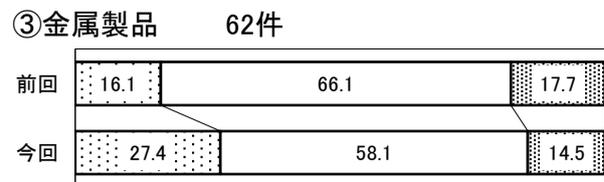
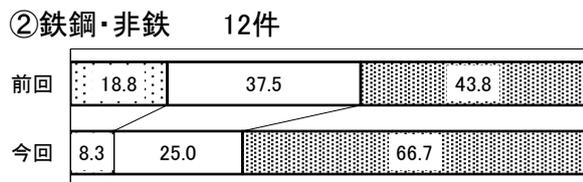
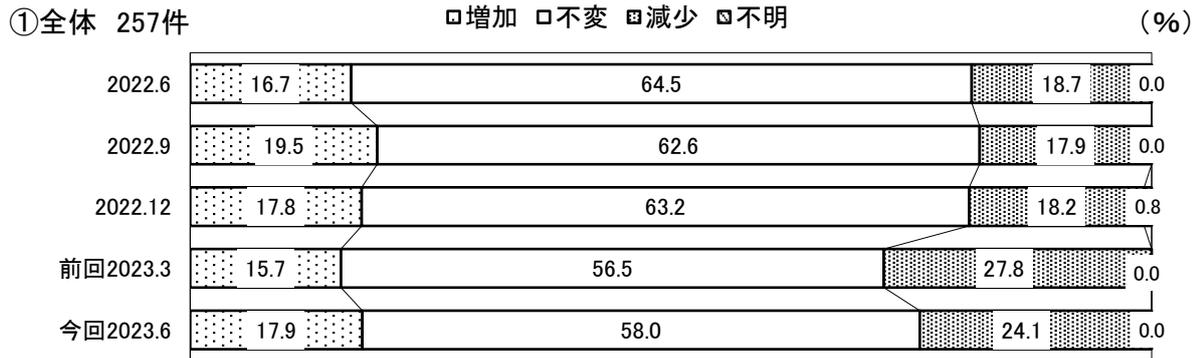
○全体

- ・4月～6月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲25.3となり、前期（1月～3月期）のD I値▲21.7と比べ3.6ポイント低下と、若干の減少傾向が見られた。一方で「不変」と回答した企業の割合が増加しており、この減少傾向に底打ち感も見られた。

○業種別

- ・D I値は、輸送用機器（▲7.7ポイント）、一般機器（▲13.4）、金属製品（▲17.8）、電気機器（▲30.0）、鉄鋼・非鉄（▲41.7）、精密機器（▲42.2）、樹脂製品（▲47.1）の7業種全てでマイナスとなった。
- ・D I値を前回と比較すると、一般機器（2.7ポイント）、電気機器（1.2ポイント）の2業種で上昇。金属製品（▲1.6ポイント）、精密機器（▲6.9ポイント）、輸送用機器（▲7.7ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲16.6ポイント）、樹脂製品（▲17.1ポイント）の5業種で低下した。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



○全体

- ・次期 (7月~9月期) の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値) は▲6.2となり、前期 (4月~6月期) 調査時のD I 値 ▲12.1と比べ5.9ポイント上昇と、若干の改善傾向が見られた。

○業種別

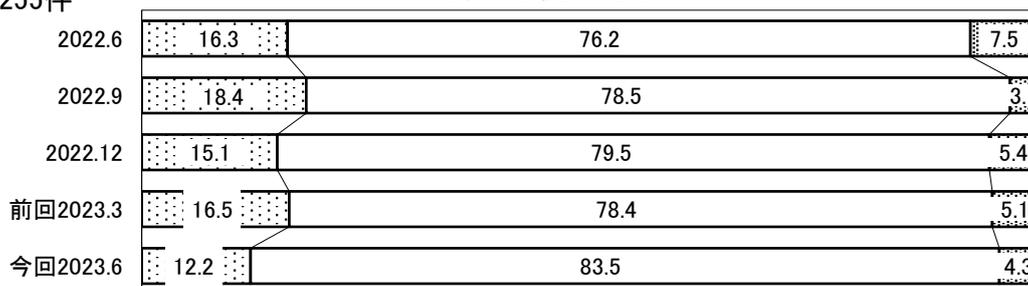
- ・D I 値は、金属製品 (12.9)、輸送用機器 (7.7) の2業種でプラスとなり、樹脂製品 (▲8.9)、一般機器 (▲9.0)、電気機器 (▲10.0)、精密機器 (▲21.1)、鉄鋼・非鉄 (▲58.4) の5業種でマイナスとなった。
- ・D I 値を前回と比較すると、輸送用機器 (15.4ポイント)、金属製品 (14.5ポイント)、電気機器 (12.9ポイント)、精密機器 (12.2ポイント)、樹脂製品 (1.1ポイント) の5業種で上昇。一般機器 (▲1.6ポイント)、鉄鋼・非鉄 (▲33.4ポイント) の2業種で低下した。

(3) 受注単価について

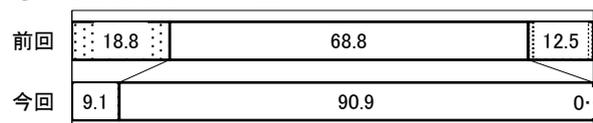
(%)

①全体 255件

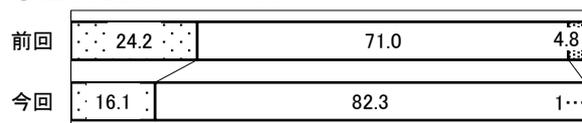
□上昇 □不変 □低下



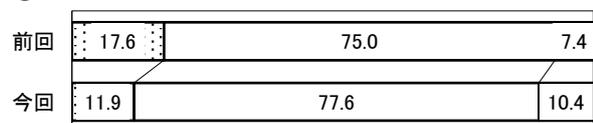
②鉄鋼・非鉄 11件



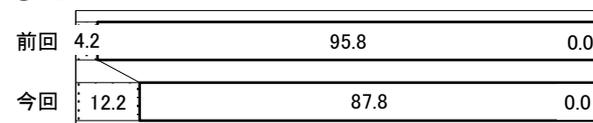
③金属製品 62件



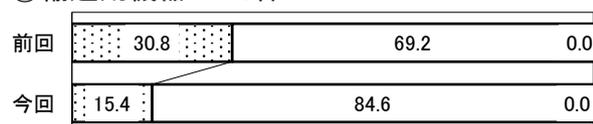
④一般機器 67件



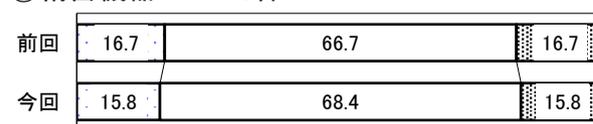
⑤電気機器 49件



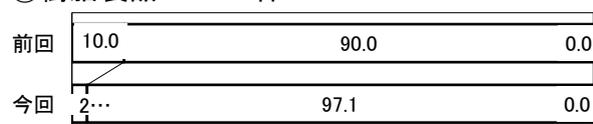
⑥輸送用機器 13件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 34件



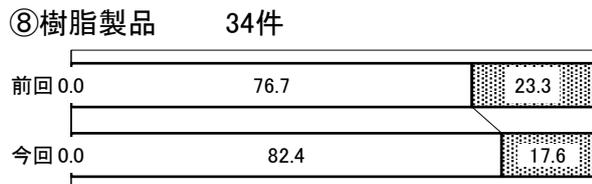
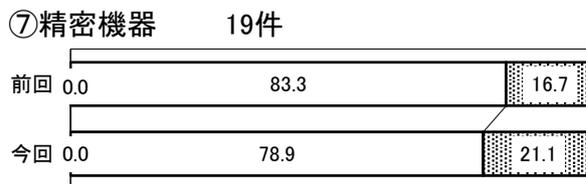
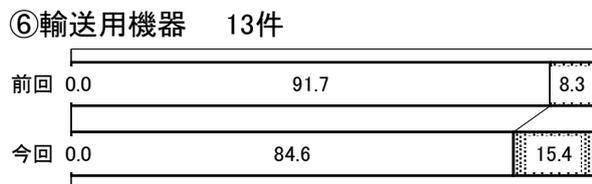
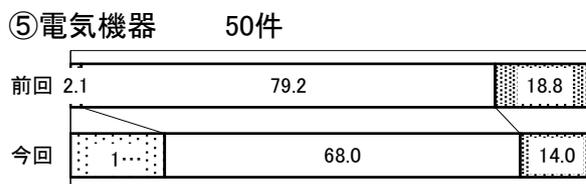
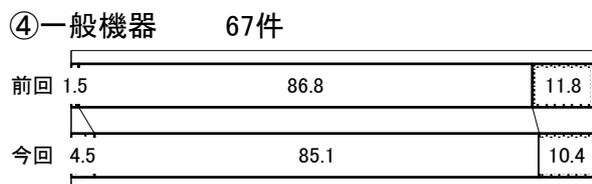
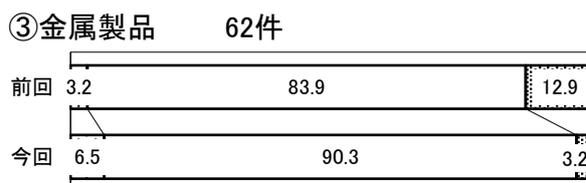
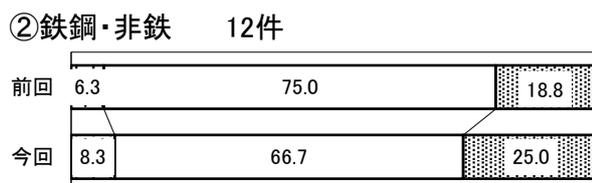
○全体

- ・4月～6月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は7.9となり、前期（1月～3月期）のD I値11.4と比べて3.5ポイント低下と、前回調査時から「上昇」と回答した企業の割合が低下した。

○業種別

- ・D I値は、輸送用機器（15.4）、金属製品（14.5）、電気機器（12.2）、鉄鋼・非鉄（9.1）、樹脂製品（2.9）、一般機器（1.5）の6業種でプラスとなり、精密機器の1業種のみ±0となった。
- ・D I値を前回と比較すると、電気機器（8.0ポイント）、鉄鋼・非鉄（2.8ポイント）の2業種で上昇。金属製品（▲4.9ポイント）、樹脂製品（▲7.1ポイント）、一般機器（▲8.7ポイント）、輸送用機器（▲15.4ポイント）の4業種で低下となり、精密機器の1業種のみ±0となった。

(4) 資金繰りについて



○全体

- ・4月～6月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲5.5となり、前期（1月～3月期）のD I 値▲13.4と比べて7.9ポイント上昇と、前回調査時から「好転」と回答した企業の割合が上昇した。

○業種別

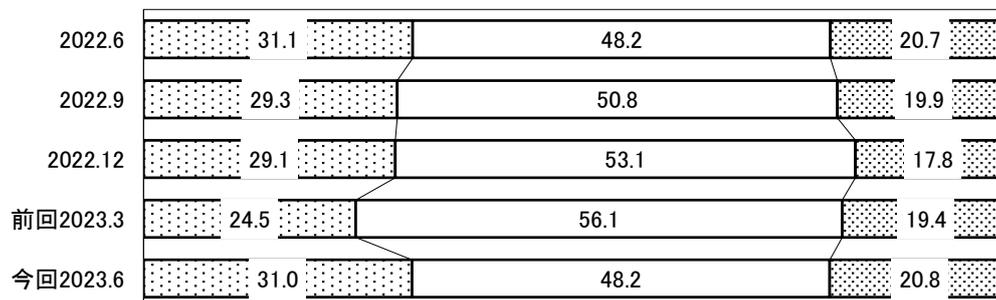
- ・D I 値は、電気機器（4.0）、金属製品（3.3）の2業種でプラス、一般機器（▲5.9）、輸送用機器（▲15.4）、鉄鋼・非鉄（▲16.7）、樹脂製品（▲17.6）、精密機器（▲21.1）の5業種でマイナスとなった。
- ・D I 値を前回と比較すると、電気機器（20.7ポイント）、金属製品（13.0ポイント）、樹脂製品（5.7ポイント）、一般機器（4.4ポイント）の4業種で上昇。鉄鋼・非鉄（▲4.2ポイント）、精密機器（▲4.4ポイント）、輸送用機器（▲7.1ポイント）の3業種で低下した。

(5) 採算状況について

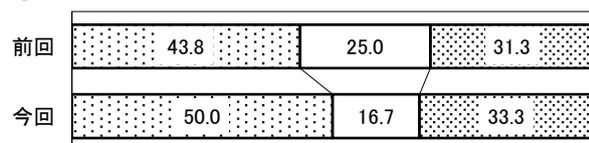
①全体 255件

□黒字 □収支トントン □赤字

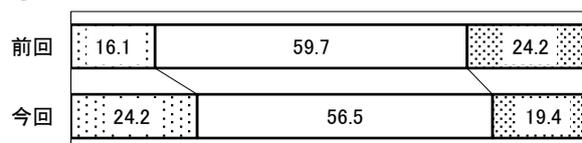
(%)



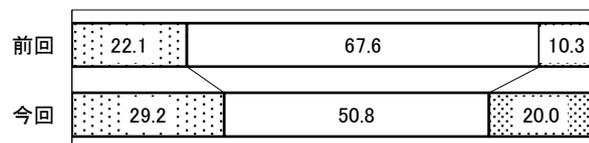
②鉄鋼・非鉄 12件



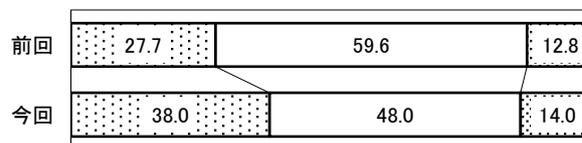
③金属製品 62件



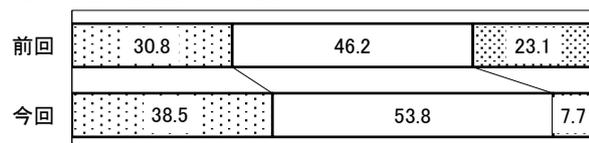
④一般機器 65件



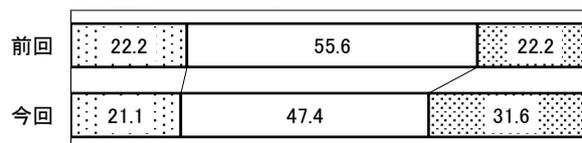
⑤電気機器 50件



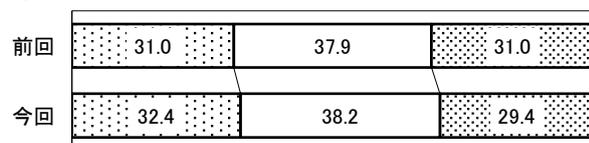
⑥輸送用機器 13件



⑦精密機器 19件



⑧樹脂製品 34件



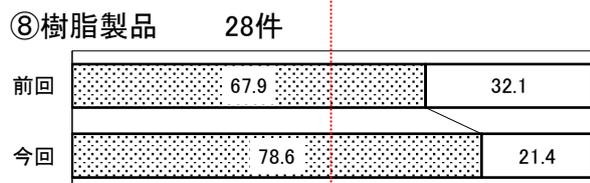
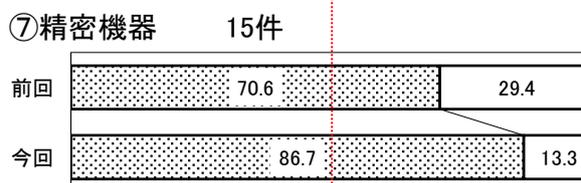
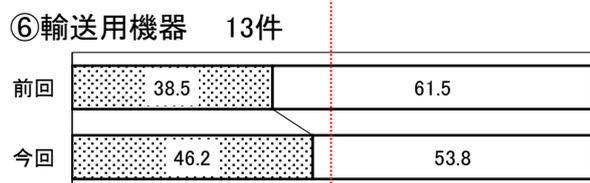
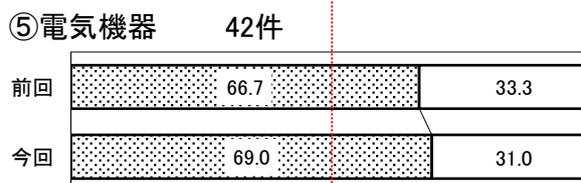
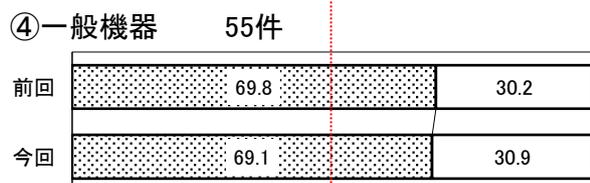
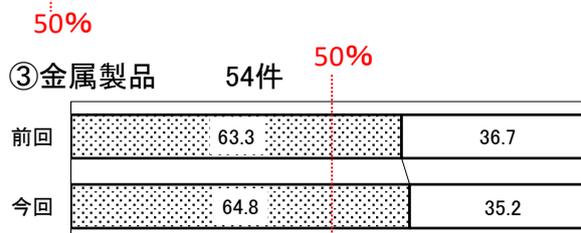
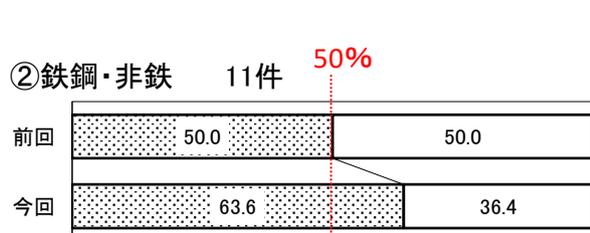
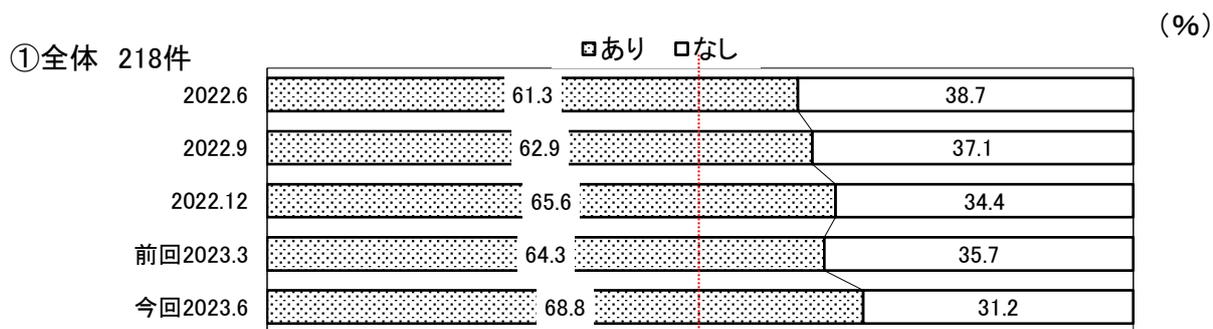
○全体

- ・4月～6月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は10.2となり、前期（1月～3月期）のD I値5.1と比べ5.1ポイント上昇と、前回調査時から若干の改善傾向が見られた。

○業種別

- ・D I値は、輸送用機器（30.8）、電気機器（24.0）、鉄鋼・非鉄（16.7）、一般機器（9.2）、金属製品（4.8）、樹脂製品（3.0ポイント）の6業種でプラスとなり、精密機器（▲10.5ポイント）の1業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（23.1ポイント）、金属製品（12.9ポイント）、電気機器（9.1ポイント）、鉄鋼・非鉄（4.2ポイント）、樹脂製品（3.0ポイント）の5業種で上昇。一般機器（▲2.6ポイント）、精密機器（▲10.5ポイント）の2業種で低下した。

(6) 受注余力について



○全体

- ・4月～6月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は37.6となり、前期（1月～3月期）のD I値28.6と比べ9.6ポイント増加した。
- ・4月～6月期は「受注余力あり」とする企業が68.8%と、前期と比較して4.5%の増加となった。（「受注余力あり」の割合が増加した＝マイナス傾向）

○業種別

- ・D I値は、精密機器（73.4）、樹脂製品（57.2）、一般機器（38.2）、電気機器（38.0）、金属製品（29.6）、鉄鋼・非鉄（27.2）の6業種でプラスとなり、輸送用機器（▲7.6）の1業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前回と比較すると、精密機器（32.2ポイント）、鉄鋼・非鉄（27.2ポイント）、樹脂製品（21.4ポイント）、輸送用機器（15.4ポイント）、電気機器（4.6ポイント）、金属製品（3.0ポイント）の6業種で上昇となり「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。一般機器（▲1.4ポイント）の1業種で低下となり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少した。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp